

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
幼児体育	2	後期	演習	1	伊達 幸博
<p>○ 授業の到達目標及びテーマ</p> <p>「子どもの生活は遊びである」と言われるが、幼児期の子どもの遊びは身体活動を伴うことが多く、これらの身体活動を伴う遊びは、子どもの心身の発育発達に大きく関与している。</p> <p>本授業では、体育実技で学んだ内容をさらに深め、子どもにとっての運動遊びとは何か、また、運動遊びの指導の進め方、単に動きの指導や遊びを教える指導にとどまらず、心身の発達を視野において保育活動の一環としての運動遊びの指導の実践力を高める。</p>					
<p>○ 授業の概要</p> <p>運動遊び現代では子どもは生活様式や遊びの変化により、からだを動かす機会が少なくなり、体力低下を惹き起こしている。本来、乳幼児・児童期に日常での遊びや生活で得られた基礎的な体力や運動能力が養われない状況にある。このような環境で、保育者として運動遊び時間の指導が求められている。子どもが自主的・主体的に楽しめる運動遊び内容を構想したり、運動遊びの知識・技術を身につけ実践し、それらの活動を振り返ったりする中から課題を見つけ、解決のための方法について検討しながら、保育実践力を身につける。</p> <p>なお、本科目はレクリエーションインストラクター資格取得にかかわる。</p>					
<p>○ 授業計画</p> <p>第1回 オリエンテーション、アイスブレイキング、徒手体操、移動運動</p> <p>第2回 アイスブレイキングの習得、移動運動の構成と動きの習得</p> <p>第3回 用具を使わない素手の運動遊びの理論と展開方法</p> <p>第4回 手や足で扱える用具を用いた運動遊びの理論と展開方法</p> <p>第5回 運動遊びの指導案（プログラム）作成と実践発表</p> <p>第6回 固定してある施設の器具を利用した運動遊びの理論と展開方法</p> <p>第7回 運動遊びにおけるホスピタリティ</p> <p>第8回 模擬保育に向けた指導内容の検討と指導案（プログラム）作成</p> <p>第9回 模擬保育に向けた指導実践の発表 I</p> <p>第10回 模擬保育に向けた指導実践の発表 II</p> <p>第11回 模擬保育に向けた指導実践の発表 III</p> <p>第12回 集団運動遊び</p> <p>第13回 運動会種目、ダンス・トラックゲーム・フィールドゲーム</p> <p>第14回 幼児コーディネーショントレーニングの理論とプログラム習得</p> <p>第15回 親子体操指導の習得</p>					
<p>○ テキスト</p> <p>『楽しさをおとした心の元気づくりーレクリエーション支援の理論と方法ー』公益財団法人 日本レクリエーション協会</p> <p>授業で配布する学習資料</p>					
<p>○ 参考書・参考資料等</p> <p>「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省、フレーベル館</p> <p>「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省、フレーベル館</p> <p>「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館</p> <p>「幼児体育理論と実践」前橋 明編集代表 大学教育出版</p> <p>「幼児期における 運動発達と運動遊びの指導」 杉原隆、河邊貴子 ミネルヴァ書房</p>					

「保育と幼児期の運動あそび」 岩崎洋子 他 萌文

○ 学生に対する評価

授業への参加態度30%、実技試験30%、知識理解20%、課題レポート20%を総合的に評価する。